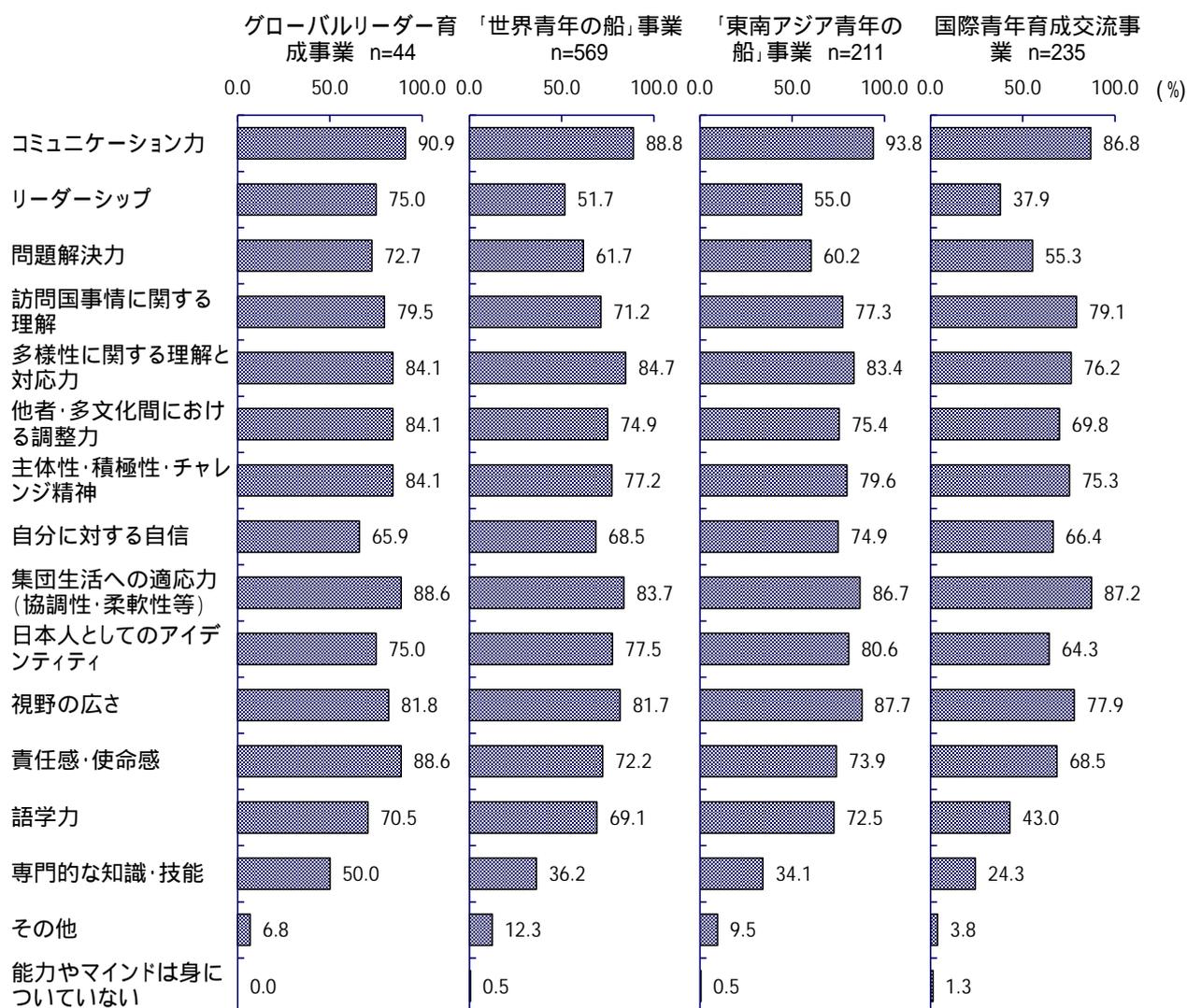


【内閣府事業参加者】 図表 4-17 事業参加によって身につけた能力やマインド～事業全体を通じて
 <内閣府事業種類別>



国際交流事業等に参加したことで身につけたと思う能力やマインド（事業全体を通じて）を内閣府事業種類別にみると、グローバルリーダー育成事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業で「コミュニケーション力」、国際青年育成交流事業で「集団生活への適応力（協調性・柔軟性等）」が最も多くなっている。

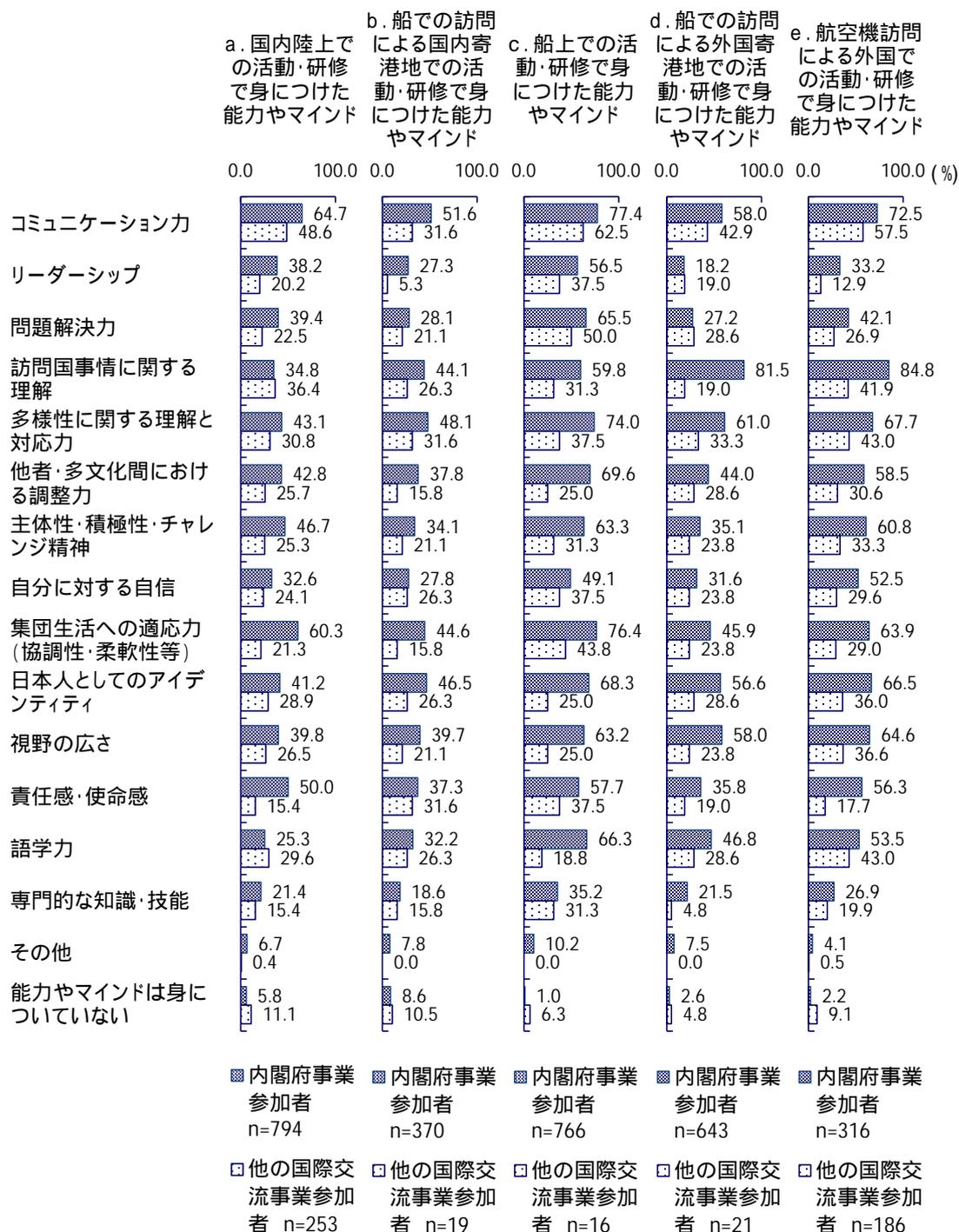
< 検定結果 >

		グローバル 世界青年の船	世界青年の船 東南アジア 青年の船	東南アジア青 年の船 国際 青年育成	世界青年の船 国際青年育 成
図表 4-17	コミュニケーション力		p < 0.05	p < 0.05	
	リーダーシップ	p < 0.01		p < 0.01	p < 0.01
	問題解決力				
	訪問国事情に関する理解				p < 0.05
	多様性に関する理解と対応力				p < 0.01
	他者・多文化間における調整力				
	主体性・積極性・チャレンジ精神				
	自分に対する自信			p < 0.05	
	集団生活への適応力（協調性・柔軟性等）				
	日本人としてのアイデンティティ			p < 0.01	p < 0.01
	視野の広さ		p < 0.05	p < 0.01	
	責任感・使命感	p < 0.05			
	語学力			p < 0.01	p < 0.01
	専門的な知識・技能			p < 0.05	p < 0.01
	その他			p < 0.01	p < 0.01
	能力やマインドは身につけていない				

(6) 事業参加によって身につけた能力やマインド～活動・研修の種類別に見た場合

問 12 事業に参加したことで、あなたは具体的にどのような能力やマインドを身につけたと思いますか。

図表 4-18 事業参加によって身につけた能力やマインド～活動・研修の種類別に見た場合



内閣府事業参加者以外調査票では「内閣府事業に参加したことで、」が「国際交流事業等に参加したことで、」となっている。

国際交流事業等に参加したことで身につけたと思う能力やマインドについて『活動・研修の種類別に見た場合』は、『a. 国内陸上での活動・研修』については、内閣府事業参加者で「コミュニケーション力」64.7%、「集団生活への適応力(協調性・柔軟性等)」60.3%、他の国際交流事業参加者で「コミュニケーション力」48.6%、「訪問国事情に関する理解」36.4%などとなっている。

『b. 船での訪問による国内寄港地での活動・研修』については、内閣府事業参加者で「コミュニケーション力」51.6%、「多様性に関する理解と対応力」48.1%など、他の国際交流事業参加者で「コミュニケーション力」、「多様性に関する理解と対応力」、「責任感・使命感」がいずれも31.6%と最も多くなっている。

『c. 船上での活動・研修』については、内閣府事業参加者で「コミュニケーション力」77.4%、「集団生活への適応力(協調性・柔軟性等)」76.4%、他の国際交流事業参加者で「コミュニケーション力」62.5%、「問題解決力」50.0%などとなっている。

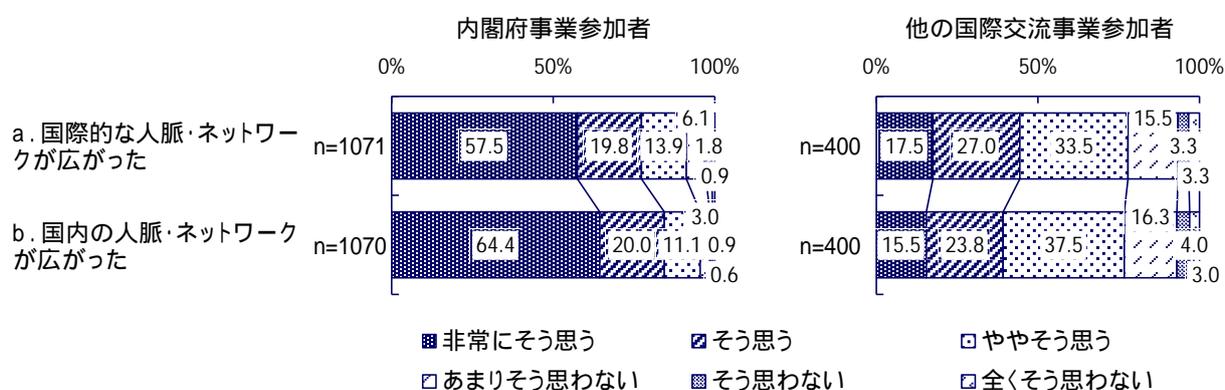
『d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修』については、内閣府事業参加者で「訪問国事情に関する理解」81.5%、「多様性に関する理解と対応力」61.0%、他の国際交流事業参加者で「コミュニケーション力」42.9%、「多様性に関する理解と対応力」33.3%などとなっている。

『e. 航空機訪問による外国での活動・研修』については、内閣府事業参加者で「訪問国事情に関する理解」84.8%、「コミュニケーション力」72.5%など、他の国際交流事業参加者で「コミュニケーション力」57.5%、「多様性に関する理解と対応力」、「語学力」が各43.0%などとなっている。

(7) 事業参加による人脈やネットワークの広がり

問 13 内閣府事業に参加したことで、あなたの国際的又は国内の人脈やネットワークは広がったと思いますか。「非常にそう思う」「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。

図表 4-19 事業参加による人脈やネットワークの広がり



内閣府事業参加者以外調査票では「内閣府事業に参加したことで、」が「国際交流事業等に参加したことで、」となっている。

国際交流事業等に参加したことで人脈やネットワークが広がったと思うかと聞いたところ、『a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」は内閣府事業参加者が57.5%、他の国際交流事業参加者が17.5%、「そう思う」を合わせると各77.3%、44.5%となる。

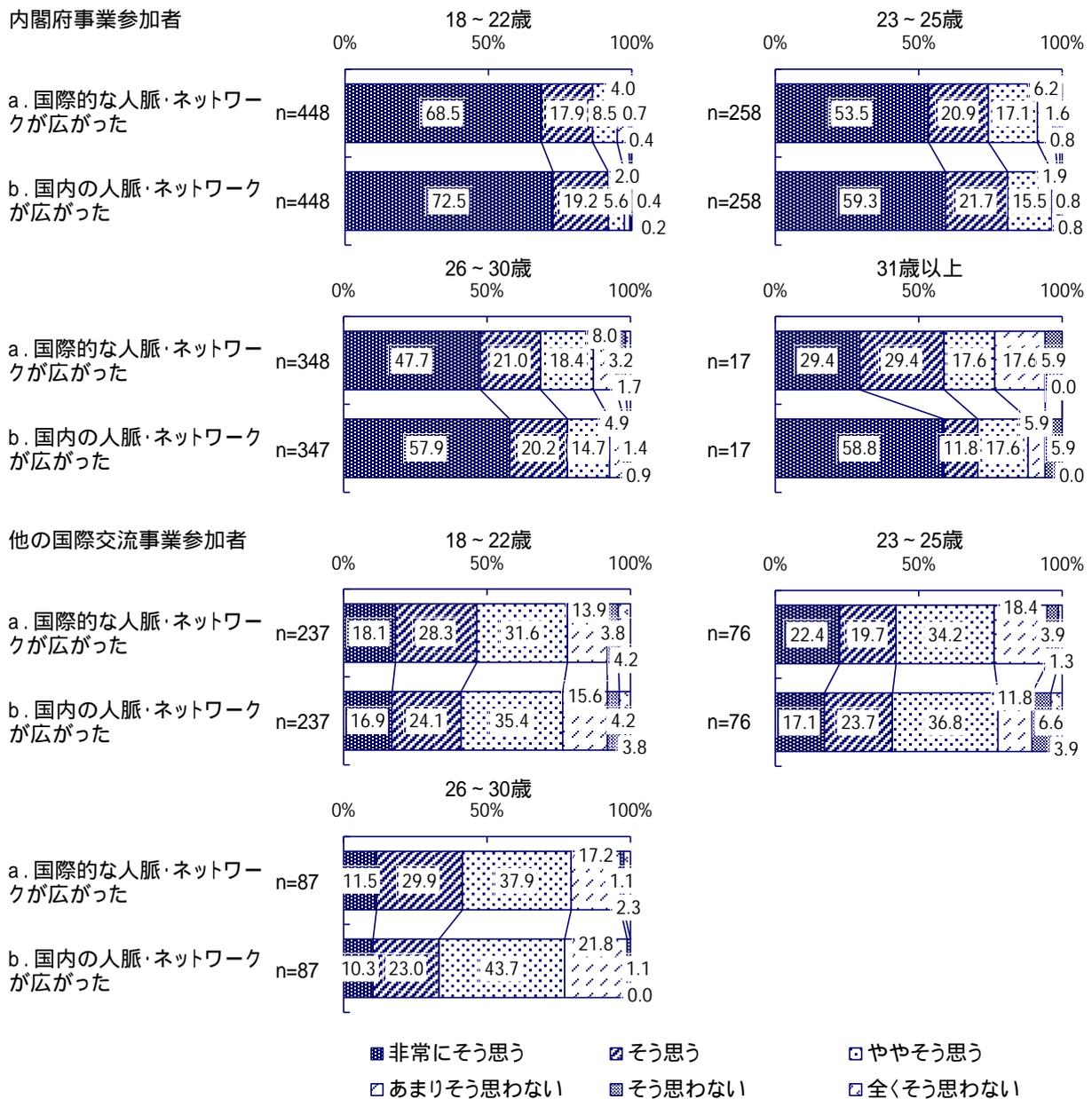
『b. 国内の人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」は内閣府事業参加者が64.4%、他の国際交流事業参加者が15.5%、「そう思う」を合わせると各84.4%、39.3%となる。

< 検定結果 >

		内閣府	他の事業
図表4-19	a . 国際的な人脈・ネットワークが広がった	p < 0.01	
	b . 国内の人脈・ネットワークが広がった	p < 0.01	

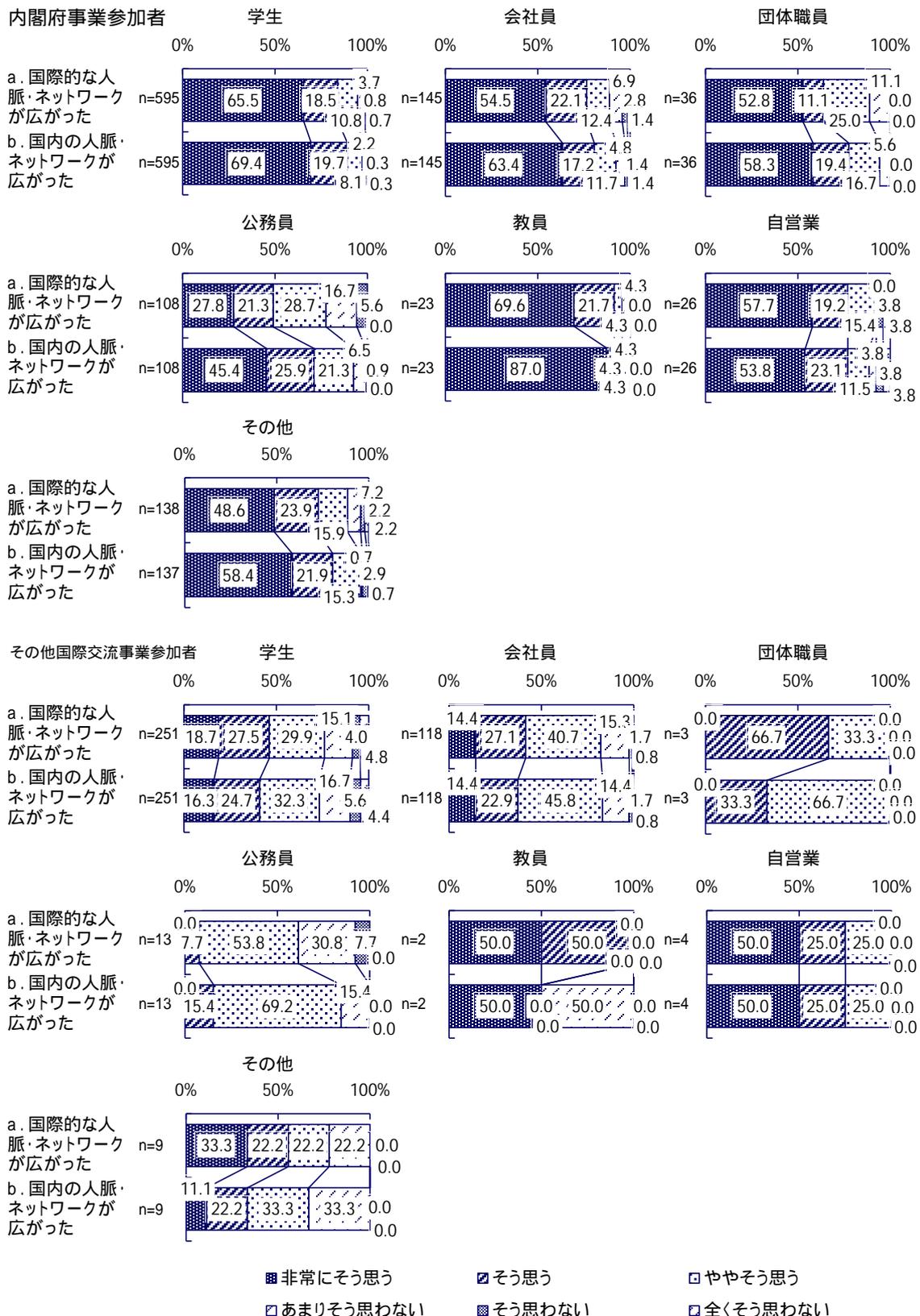
「非常にそう思う」+「そう思う」、それ以外の2カテゴリーで計算。

図表 4-20 事業参加による人脈やネットワークの広がり < 参加時の年齢別 >



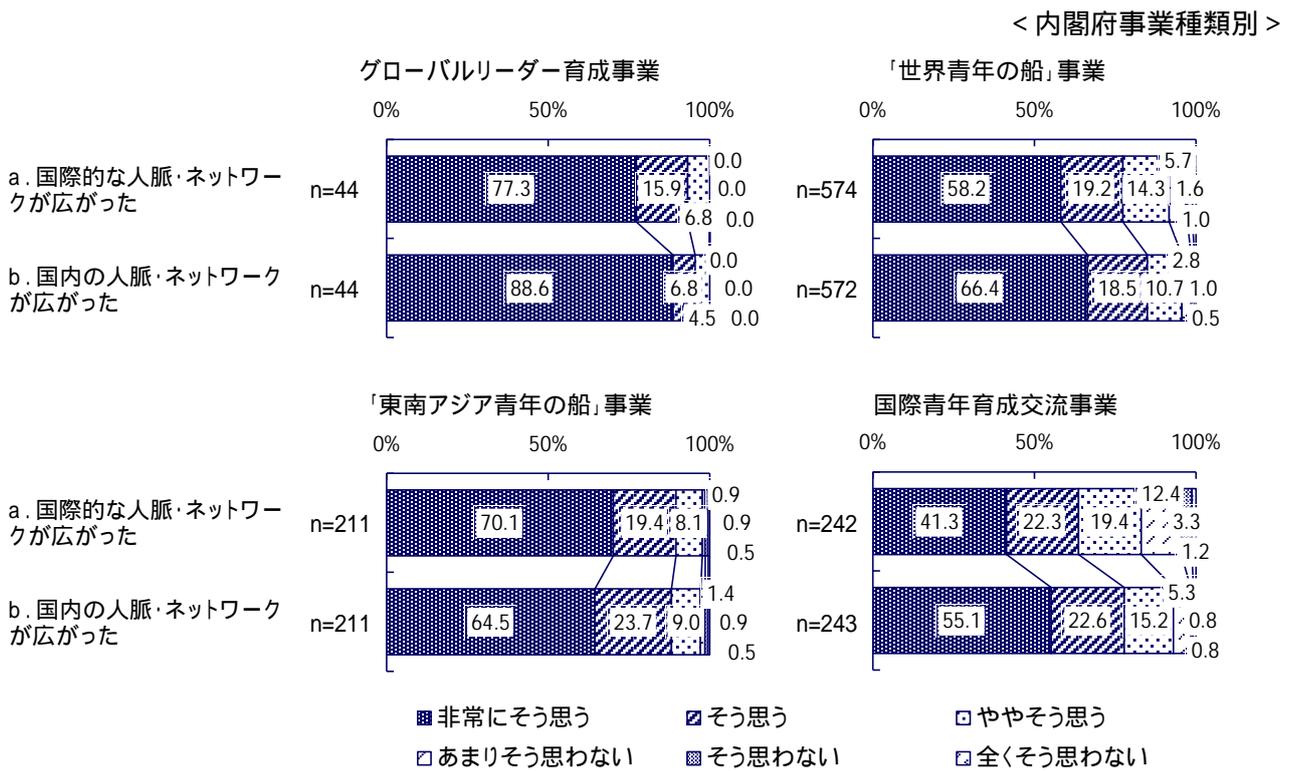
国際交流事業参加による人脈やネットワークの広がりを参加時の年齢別にみると、『a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」は内閣府事業参加者の18~22歳が68.5%、他の国際交流事業参加者の18~22歳が18.1%などとなっている。

図表 4-21 事業参加による人脈やネットワークの広がり <参加時の職業別>

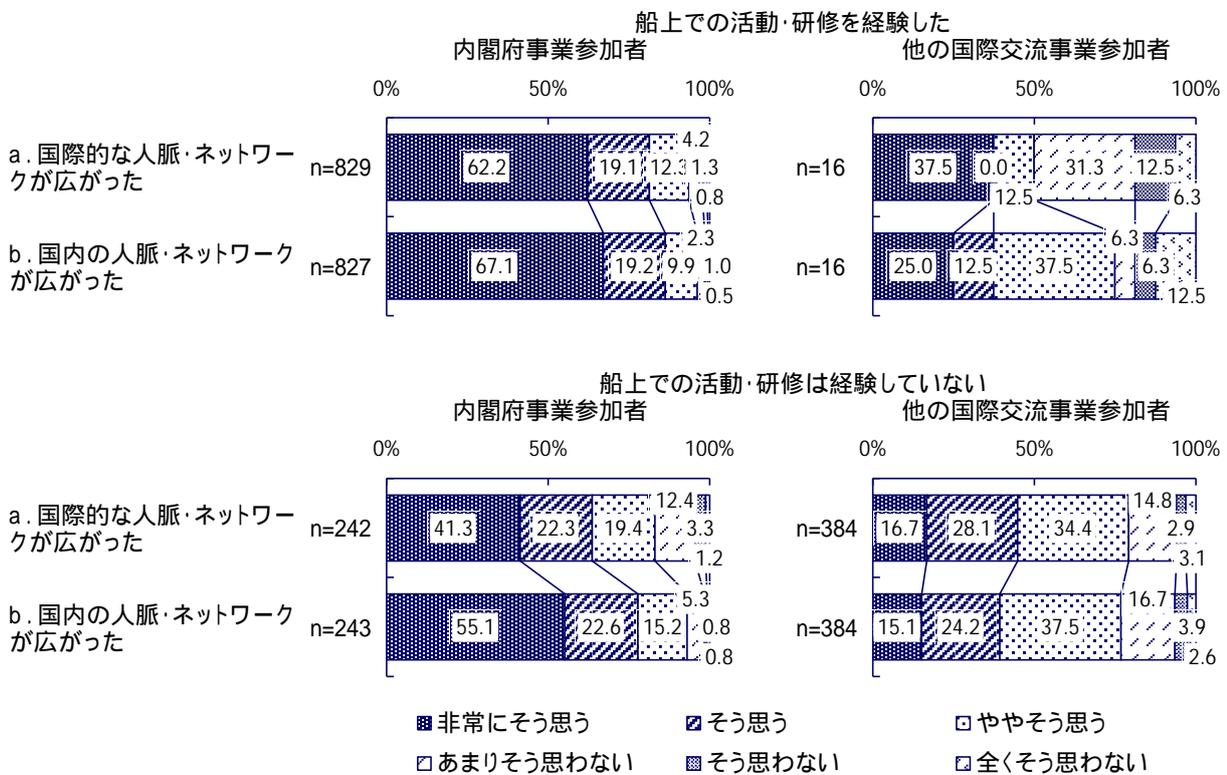


国際交流事業参加による人脈やネットワークの広がりを参加時の職業別にみると、『a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」は内閣府事業参加者の学生が65.5%、会社員が54.5%、他の国際交流事業参加者の学生が18.7%、会社員が14.4%などとなっている。

【内閣府事業参加者】 図表 4-22 事業参加による人脈やネットワークの広がり



図表 4-23 事業参加による人脈やネットワークの広がり < 船上活動の有無別 >



国際交流事業参加による人脈やネットワークの広がりを内閣府事業種類別にみると、『a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」はグローバルリーダー育成事業で77.3%、「東南アジア青年の船」事業で70.1%と7割以上を占めている。『b. 国内の人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」はグローバルリーダー育成事業で88.6%と割合が高くなっている。

船上活動の有無別にみると、『a. 国際的な人脈・ネットワークが広がった』で「非常にそう思う」は、内閣府事業参加者で船上での活動・研修を経験した場合62.2%、船上での活動・研修を経験していない場合41.3%などとなっている。

< 検定結果 >

		グローバル 世界青年の船	世界青年の船 東南アジア 青年の船	東南アジア青 年の船 国際 青年育成	世界青年の船 国際青年育 成
図表4-22	a . 国際的な人脈・ネットワ ークが広がった	p < 0.05	p < 0.01	p < 0.01	p < 0.01
	b . 国内の人脈・ネットワ ークが広がった			p < 0.01	p < 0.05

「非常にそう思う」+「そう思う」、それ以外の2カテゴリーで計算。

< 検定結果 >

		内閣府事業 経験あり	船上活動 なし
図表4-23	a . 国際的な人脈・ネットワークが広がった	p < 0.01	
	b . 国内の人脈・ネットワークが広がった	p < 0.01	

「非常にそう思う」+「そう思う」、それ以外の2カテゴリーで計算。

(8) 事業参加による学びや影響の具体的内容

内閣府事業参加者 意見例

- ・異なる文化や価値観、習慣などに触れた、そのことにより視野がひろがった、考え方が変わったなど。
 - *異なる価値観や考え方を持つ人に対するコミュニケーション・リーダーシップのコツを学び、事業後の私生活や仕事においても、より周囲をうまく巻き込んで最大の効果を発揮できるようになった
 - *価値観が変わり世界を見る目が変わり人生が変わった。その後地元に戻り、社会的起業家を育成するビジネスを立ち上げるきっかけになった。今現在も、学んだ経験を生かして会社を経営している。今の自分を育ててくれた、無くてはならない事業であったと思う。
 - *人生の転機となった出逢い、機会であり、その後の仕事の選択や生き方に影響している。
 - *文化の多様性を感じつつも、共通している部分も多かった事を学びました。事業後、外国人と仕事をする機会もありましたが、コミュニケーションの取り方に船での経験が生かされているように思います。国内参加青年との交流も続いているほか、IYEO 青年との交流も広がり、人脈づくりに生きていますと実感しています。
 - *訪問国への理解、訪問先の人々との交流を通じた異文化への理解が深まった。

- ・日本人として、日本について思ったこと。
 - *国の代表として参加することで、日本人というアイデンティティを強く意識しました。同時に日本人として、ASEAN諸国や世界にどのようなアプローチができるか、といった参加する前までは考えもしなかったスケールで物事を考えられるようになりました。
 - *日本についてもっと学ばなければならないと気づき、積極的に知識を得ようとするようになった。自国の歴史文化に誇りを持つようになった
 - *日本国青年代表として交流事業に参加し、国家というものを初めて認識し国際理解・文化交流を経験できたことはすべてにおいて人生の糧になっています。また IYEO つながりもあり、大変人脈が増えました。貴重な経験をとても感謝していますしこれからもぜひ次世代につなげていきたい事業です。
 - *日本人・外国人に関わらず、ポテンシャル高くやる気に満ちた人々と仲間になれたことは、事業終了後今に至るまで広がり続けている。13か国の同世代が密室空間で一定期間生活することは個々が体当たりで関係を築いていくしかなく、逆に日本人として日本への関心の薄さを思い知らされた。事業がきっかけで、一層日本への愛国心は増し、その視点で社会を見るようになった。もちろん参加青年の国も我が国のように近い存在になり、世界情勢が我が事のように強い関心を抱くようになった。
 - *日本人としてのアイデンティティの確立と、日本文化の素晴らしさを認識した。そして、その後の自分の生き方について深く考え、社会貢献する責任感を持つことができた。

- ・自分自身について。
 - *自らのキャリアを考え直すきっかけになった。「自分は世界に、社会に対してこう関わっていきたい」と語ることで参加者と出会うことで自分はこの先どう生きていきたいのか考えることができた。
 - *自分が狭い世界に生きてきたことに気づかされ、また、世界における日本の高い評価を感じました。
 - *自分と向き合う時間となった。自分が将来についてあまり見通しを考えていないということに気付かされたり、やはりいろんな国のことを知るの楽しいと実感したりした。
 - *これから日本を主導していくという立場にあることに気付いた。
 - *書ききれないほどありますが、特に、もともと自分自身で短所だとコンプレックスに思っていたことが、長所にもなりうるのだと気づかせてもらったことで、少し自信になりました。

- ・国際交流について、東南アジアや世界をみるようになったことについて。
 - *海外の日系社会に関心を持ったことがきっかけで、大学院に進学した
 - *各国の事情がよく分かり、相手の気持ちを考えられるようになった。
 - *国際社会への関心が強くなった。当事者意識を持つようになった。
 - *国際的に広い視野を持ち続けることの大切さと、それを何らかの形で社会に還元していくこと。
 - *東南アジア各国に対する知識、理解が深まった。また同世代の日本人及び外国人の様々なライフスタイルや考えを知り、自分の視野が広がった。国際的な事柄に興味をもつようになり、仕事上でも途上国支援などに関わることとなった。

- ・国内外のネットワークについて。
 - *国内、海外の友達ができただこと
 - *国内外にさまざまなバックグラウンドを持った人と知り合うことができ、視野が広がった。一生の友人とであえた
 - *今まで何かやりたいと思っても諦めていたことがあった。しかしこの事業を通し、一緒に夢を現実にできる仲間に出会えた。宝物です。

- *人的ネットワークが格段に広がり、日本から遠く離れた国で起きている問題に対しても他人事ではなく、強い関心を持つようになったとおもう。また、皆の挑戦を応援する雰囲気があったため、何事にも恐れず積極的にチャレンジしていきける精神力が養われた。
- *尊敬すべき海外の友人が飛躍的に増加した。

その他の国際交流事業参加者 意見例

- ・異なる文化や価値観、習慣などに触れた、そのことにより視野がひろがった、考え方が変わったなど。
 - *異なった文化を知ることができ、考え方のことなる相手を受け入れる心のひろさを学んだ。
 - *異文化では、自分の考えは明確に口に出して言わないと伝わらないことがわかった。日本人同士の話し合いにおいても、言わなくてもわかるだろうという考えはなくなった。
 - *外国の人の考え方と日本人の考え方の違いを学び、考え方の許容が広がった。
 - *国ごとの考え方の違いを知った
 - *視野が広がった。国内にいても日本人としての意識を持って行動するようになった。初めて会う人とも話せるようになった"
- ・日本人として、日本について思ったこと。
 - *国際人としての日本人のアイデンティティを学び、国際交流の楽しさを知った。
 - *世界に出ていくことで自分の身の回りの暮らしや環境を再認識し、ひいては日本人として世界経済にアプローチしていくことの重要性を強く感じた。
 - *日本人としての考え方を深めるきっかけになった。
 - *一番は生まれた国、日本人としてのアイデンティティを持つことの大切さが分かりました。その上で、日本という島国に生まれた事で育んだ精神性を、海外との接触ではある程度捨てる必要性も感じました。前にならえ精神は余り海外では役に立ちません。あとは単純に英語力の向上を実感しました。
 - *単純な意見なんですけど、日本人に生まれた事を誇りに思う様になりました。国や言葉が、違っても何日か一緒に居ると分かりあえて来るということを実感しました。
- ・自分自身について。
 - *自信がついてきた。
 - *自分が小さいものだと感じた。
 - *自分のイメージを立場の違う人と共有すること、イメージをはっきり伝えるためのコミュニケーション能力が足りないこと
 - *積極性と行動力がついた。とりあえず「やる」ことが大切だと思うようになった。
 - *コミュニケーションの難しさを知り、若干自身を失った。
- ・国内外のネットワークについて。
 - *友人が増えた。
 - *海外の方との交流が盛んになった。
 - *私自身、自信がつき、外国の友人も増えた。
 - *想像以上に人と人のつながりがあり、とても親密になれた。
 - *大学内の小さなグループにとらわれず、広い交流が財産になりました。
- ・語学について。
 - *英語が下手でも物おじせず、主張することの大切さ
 - *英語の能力が大幅に向上した。外国人にたいして萎縮しなくなった。
 - *語学そのものの他、リーダーシップ発揮のための行動のおこしかたについて学びました。
 - *語学力が向上し、その後の仕事に役立っている。
 - *言葉の通じないもどかしさを感じ、語学のより一層の勉強へつながった。